

令和4年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

警固屋中学校区 校番 10 学校名 警固屋小学校

<p>a 学校教育目標</p>	<p>「自分を創る」 ～地域を愛し、自ら学ぶ心豊かで力強く未来を拓いていく「警固屋っ子」の育成～</p>	<p>b 経営理念 ミッション・ビジョン</p>	<p>〈ミッション〉(学校の使命) 小中一貫教育を通して、未来への展望を持ち「自他の幸せを目指し、自立し貢献できる人間」の根っこを育てる。 〈ビジョン〉(将来の学校像) ・学習活動や行動が充実し、仲間と学ぶ楽しさがあふれる学園 ・子どもの夢や希望を生み出し、実現させる学園 ・地域・社会に貢献する実践的行動力のある学園</p>
-----------------	--	------------------------------	--

<p>c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点</p>	<p>【現状(○成果●課題)】 ○小中一貫教育を推進する組織体制を築いており、小学校と中学校が共通の目標の下、研究を進めている。 ○教科の本質を追究した「考える授業づくり」に向けて組織的な取組を進めている。 ○地域における学園の存在意義を教職員・児童生徒・保護者が共有し、地域と一体となって学校教育目標「自分を創る」を目指している。 ●各学力調査において課題が見受けられ、基礎学力(基礎・基本)の定着が重要課題である。 ●学力調査や公立高等学校入試を見据え、15歳の生徒に身に付けてほしい力の向上にむけて、小中学校が系統的に進める必要がある。 ●児童生徒の実態を踏まえ、生活習慣・学習習慣の改善に取り組む必要がある。 上記の現状より、次の5点を今年度の重点とする。 ①未来に貢献する「自分を創る」(資質・能力を培う)ための主体的な学びを推進する。(学力向上・生き方) ②誰もが安全で安心して学べる教育環境の確保する。(生徒指導・学級経営) ③健康で生きがいをもって生涯を生き抜く生活習慣の基盤づくりをする。(基本的生活習慣) ④教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整備する。(児童と向き合う時間の確保・業務改善) ⑤小中一貫教育校として新たな価値を創造する学校組織を構築していく。(協働的な組織)</p>
-------------------------------------	---

<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>知識・技能(知識及び技能) 思考力・判断力・表現力(思考力、判断力、表現力等) 主体性、協働性(学びに向かう力、人間性)</p>
--------------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから ①・2・3 年目)					自己評価						
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	未来に貢献できる「自分を創る」資質・能力を育むため主体的な学びを推進する。	○基礎学力の定着を図り、思考力・判断力・表現力を培う。	スキルタイムとチャレンジタイムを組織的に行う。	単元末テスト(国算)の各学期の平均を80%以上にする。	100%						
			日記や詩を書くことを通して、書く力を育てる。	毎週1回日記(詩は月に1回)を書く児童の割合を80%以上にする。	100%						
		○「考える授業づくり」を通して、主体的で対話的で深い学びをする児童生徒の育成を図る。	学年の発達段階に応じた家庭学習の仕方を身に付けさせる。 警固屋学園の授業モデルを推進し、「考える授業づくり」の実践を行う。	低学年…宿題提出率 中学年…復習実施率 高学年…予復実施率	上半期 80% 下半期 90%	100%					
**	だれもが安心・安全な環境で学べる学校風土を醸成する。	○地域の課題を考え、地域に貢献する児童生徒を育成する。	防災教育の充実 (避難訓練、教科等の指導)	避難訓練で、自分の命を守る避難の仕方を身に付けた児童の割合90%以上にする。(児童アンケート)	100%						
				学期に1回以上防災教育・安全教育を実施する。	100%						
		○いじめを許さず、互いに認め合うことができる集団をつくる。	支持的風土のある学級経営を行う。	「自分のクラスは、安心安全で居心地がよい」と思う児童の割合95%以上にする。(児童アンケート)	100%						
			○社会的スキル及び生活習慣の習得	基本的生活習慣を確立するための生活強化週間の設定	学校内外で、積極的な挨拶や気持ちのよい返事をする児童の割合90%以上(地域アンケート)	100%					
*	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	○在校等時間の縮減	退校時間の設定	時間外勤務が月45時間以内の教職員の割合	80%						
			○児童生徒と向き合う時間の確保	各分掌で業務改善を行い、全職員が意識して取り組む。	年間2つ以上業務改善を行う。(上半期1つ以上、下半期1つ以上)	100%					

【k: 評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60